

衆議院小選挙区選出議員選挙公報(千葉県第11区)

千葉県選挙管理委員会



日本共産党 椎名史明

しいなふみあき

安倍暴走政治に 退場の審判を

「森友・加計」疑惑隠し・国政私物化、民意を無視した沖縄米軍新基地建設・原発再稼働の強行、安保関連法Ⅱ戦争法、特定機密保護法、「共謀罪」法など憲法を踏みにじる安倍政権。もうこれ以上続けさせるわけにはいきません。戦争法容認と憲法改正を踏み絵にする人たちは、安倍政権の補完勢力にすぎません。「市民と野党の共闘」の前進に誠実に努力し、平和と暮らしを守りぬく共産党が伸びてこそ、新しい政治の扉を開くことができます。私、椎名史明を、国会に送り出してください。

1957年神奈川県横浜須賀野生まれ。千葉大学卒業。映画配給会社勤務を経て党職員に。現在、茂原市在住。

憲法いかし、暮らしを守る政治へ

9条は世界の宝

消費税10%は中止

格差と貧困を拡大する4つの改革

(1) 税金の改革——大企業と大資産家に応分の負担を求め、財源を確保するとともに、格差を是正します。

(2) 予算の改革——社会保障・教育・子育て・若者を優先し、格差と貧困の是正に役立つ予算を増やします。

(3) 本物の働き方の改革——8時間働けば普通にくららせる社会に。是正し、地域経済を支えている農業・漁業を支援します。

(4) 地域経済の再生——大都市と地方、大企業と中小企業の格差を是正し、地域経済を支えている農業・漁業を支援します。

●安倍政権が狙う9条改憲ストップ
憲法9条への自衛隊明記は、無制限の海外での武力行使に道を開くものです。日本共産党は「9条守れ」の一点で共同します。

●北朝鮮問題
核実験・ミサイル発射は断じて許せません。経済制裁強化と一体に、米朝対話による平和的解決を。

●原発再稼働反対
原発ゼロの日本。再生可能エネルギーの先進国をめざします。

●核兵器禁止条約
唯一の戦争被爆国、日本政府に署名を迫ります。

市民と野党の共闘で政治変えます

安民法制廃止、立憲主義回復の「大義の旗」を掲げた市民と野党の共闘の広がりが安倍政権を追い詰めてきました。この流れこそ未来があり展望があります。日本共産党は、千葉県内では3つの小選挙区で候補者を調整し一本化しました。一人ひとりが尊厳をもって生きることができると新しい日本をいっしょにつくりましょう。

政党助成金の廃止を

思想信条の自由、政党支持の自由を侵す政党助成金(年316億円)。「身を切る改革」というのであれば、キツパリ廃止すべきです。

比例代表は

日本共産党

とお書きください



森英介

もり えい すけ

自由民主党公認

房総の底力。日本の底力。

未来への責任

我が国は、内外に多くの難問を抱えています。内には、少子高齢化、そして人口減少が進む中で経済成長を達成し、社会保障制度を堅持しなければなりません。外には、北朝鮮の核やミサイルの脅威に対し、各国とも連携して、問題の発生を未然に防がなければなりません。我が党は、安倍内閣と一体となって、こうした難問の克服に全力を傾注して取り組んでまいります。また、日本国憲法が制定されてから今年で70年が経過しました。その間、社会状況や国際環境自然環境も大きく変容しました。その為、今の憲法では現実への適切な対応が難しいケースも指摘されるようになってきました。そこで、これからの時代にふさわしい憲法を作り出すことが必要です。その実現に向けて、真摯な議論を積み重ねて行きたいと考えます。さらに、私どものふるさとにつきましては、2020年東京オリンピック・パラリンピックに際し、サウジアラビアと共同開催が決定されています。何としてもこの大会を大成功に導くとともに、これを単に「一過性のお祭り」に終わらせたくなく、将来にわたって地域振興の起爆剤とならなければなりません。どうかこれまで同様、皆様のご支援をお願い申し上げます。

「経済の好循環を、さらに前進させる」

この4年間、さらさらと、デフレ不況からの脱却、そして経済再生へ向け、たゆまず果敢に推進してきたアベノミクスが奏功した成果として、雇用・所得環境が着実に改善された。名目GDPは44兆円増加し、また中小企業の倒産は26年ぶりの低水準となり、3割も減らすことができた。格差を示す指標である相対的貧困率も、調査開始以来初めて減少に転じた。さらに、史上初め、47都道府県すべてで有効求人倍率が1倍を超え、全国津々浦々で、確実に経済の好循環が生まれている。ここで手を緩めると、あらゆる政策を総動員して、個人消費を伸ばし、民間の設備投資を伸ばし、雇用の伸びを、以て経済の好循環をさらに推し進めることが必要である。そのために資するべく積極的に財政出動する。

「持続可能な社会を構築する」

食料水、エネルギー、および健全な大気などは、人類が生きていく上で、必要不可欠なリソース(資源)である。しかし、その消費は、互いに相関がある。たとえば、人類に必要なだけ、エネルギーを得ようとするれば、適切な地球環境が損なわれる。従って、これらのリソースを将来にわたって確保しよとするならば、一つを切り離して考え対応するのではなく、総合的な観点からの取組み、言わば、多元連立方程式を解くような取組みが必要である。

「日本の安全を守り、国際社会の一員としての責任を果たす」

敵しさを増す国際情勢の中で国民の生命と平和な暮らしを守るために総合的な見地からの安全保障体制の整備に努める。日米の同盟関係を基軸としつつ、各国との戦略的互恵関係を深めることが必要である。また、国際社会の一員としての責任をしっかりと果たし、世界の中で我が国の立場を確固としたものにするのが我が国の安全にも資すると考える。

「農業・畜産酪農・水産業を振興する」

いすれ到来する食料危機の時代に備え、我が国でも十分な食料自給率を堅持しなければならない。そのためには、今後とも国内で所謂一次産業が安定的に存立できるような条件整備が必要であり、生産者の立場に立つて取り組む。

「超高齢社会に対応できる社会保障制度及び社会システムを構築する」

我が国は、世界が経験したことがない超高齢社会を迎えつつある。そのような時代に当たり、税制を含む社会保障制度の整備は焦眉の急の課題である。更に、制度ばかりでなく、地域社会における医療・介護のネットワークづくりなど、そうした時代に適応できる社会システムの構築も必要となる。このように、制度、社会システムの両面からの対策の推進に全力で取り組む。

「次代を担う人材を育成し、科学技術を振興する」

これからは日本が世界の中で隆々とした存在であり続けるためには、人材こそ国の基である。我が国の教育の現状は、多くの課題を抱えている。その解決に全力で取り組む、世界のことにも負けない教育体制を実現する。また、近年、文明の直接的、間接的影響が顕在化してきており、こうした問題を克服するには、科学技術の役割が一層重要になってくる。

●森英介プロフィール
昭和23年(1948)8月31日生まれ。当選9回。労働政務次官、衆議院厚生労働委員会委員長、厚生労働副大臣などを歴任。元法務大臣。元川崎重工社員。東北大学卒。工学博士(名古屋大学)。家族は妻・葉子(弁護士)と一男一女。趣味は料理、音楽、犬。

比例代表は **自民党**へ

希望の党 守るべきものはしっかり守る。変えるべきものは大胆に変える。

たがや亮プロフィール

1968年11月25生まれ
國學院大學文学部卒
大学二年生より都内で飲食店を起業 経営歴29年

趣味
スポーツ、音楽

スポーツ
野球、バレーボール

座右の銘
人間万事塞翁が馬

家族
妻、長女(大学2年)、長男(中学1年) 茂原市在住

日本に希望を。

希望の党の公約

- 公約01 消費税増税凍結 景気回復を確実にするため、2年後の消費税増税を凍結します。
- 公約02 議員定数・議員報酬の削減 国会議員みずから身を切る改革を断行し、「しがらみ政治」から脱却します。
- 公約03 ポスト・アベノミクスの経済政策 徹底した規制改革と特区を最大活用し、民間の活力を生かした経済活性化を図ります。

- 公約04 原発ゼロへ 「2030年までに原発ゼロ」を目指します。徹底した省エネで、エコ社会に変えていきます。
- 公約05 雇用・教育・福祉の充実 正社員で働ける、結婚できる、子どもを育てられる社会。そこに少子化問題解決の力があります。
- 公約06 ダイバーシティ社会の実現 すべての人が輝ける社会をめざします。特に、女性、シニアの力をさらに生かします。
- 公約07 地域の活力と競争力の強化 現場に任せれば元気になる。道州制を導入し、地域が自分で決めればムダもなくなる。
- 公約08 憲法改正 憲法9条をふくめ憲法改正論議をすすめます。国民の知る権利、地方自治の分権を明記します。
- 公約09 危機管理の徹底 外交安全保障はもとより自然災害対策も強化し、国民の生命と主権を守る万全の備えを整えます。

希望の党公認

たがや亮

りょう 48歳

衆議院議員総選挙

最高裁判所裁判官国民審査

投票日

10月22日(日)

投票時間 午前7時～午後8時

この選挙公報は、千葉県第11区選挙公報です。

◎千葉県第11区に属する区域

茂原市	東金市	勝浦市	山武市
いすみ市	大網白里市	九十九里町	
芝山町	一宮町	睦沢町	長生村 白子町
長柄町	長南町	大多喜町	御宿町
横芝光町	牛熊 姥山 於幾 小堤 北清水 木戸台 栗山	古川 坂田池 坂田曾根合 寺方 遠山 取立	鳥喰上 鳥喰下 鳥喰新田 長倉 中台 長山台 新島

屋形
谷台
横芝
両国新田
(50音順)

旧横芝町(大総地区、横芝地区、上堺地区)

期日前投票・不在者投票は、10月21日(土)までの毎日、原則午前8時30分から午後8時までできます。
詳しくはお住まいの市区町村の選挙管理委員会までお問い合わせください。